

研究教育業績（過去 5 年間） (2016～2020 年度)

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) T. Yasuno, T. Ohe, H. Kataoka, K. Hashimoto, Y. Ishikawa, K. Furukawa, Y. Tateishi, T. Kobayashi, K. Takahashi, S. Nakamura, T. Mashino; Fullerene derivatives as dual inhibitors of HIV-1 reverse transcriptase and protease, *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **31**, 12767(2020). 査読有
- 2) Kataoka H., Ohe T., Takahashi K., Nakamura S., Mashino T., *Bioorg Med Chem Lett*, **26**(19), 4565–4567(2016). 査読有

[その他]

- 1) 片岡裕樹, C 型肝炎疾患治療薬を指向したフラレン誘導体の創製, 埼玉県薬剤師会雑誌, **43**(8), 14–17(2017).

2. 主な学会発表

[国際学会]

なし

[国内学会]

- 1) 藪内大貴, 片岡裕樹, 高橋恭子, 中村成夫, 大江知之, 増野匡彦, 新規アザフレロイド誘導体の合成と HCV RNA ポリメラーゼ阻害活性, 第 62 回日本薬学会関東支部大会, 9 月, 東京(2018).
- 2) 片岡裕樹, 熊本浩樹, 窪田豊, 清水将貴, 野口陽香, 土屋慶, 杉村真奈香, 住吉昭彦, 山崎龍之介, 高尾昌宏, 藤井瞳, 松本奈穂美, 谷拓紀, 坂口めぐみ, 小野寺遼太郎, 原ロー一広, 毒性の低い抗 HCV 薬を指向した 4'-チオヌクレオシド誘導体の合成研究, 日本薬学会第 138 年会, 3 月, 金沢(2018).
- 3) 片岡裕樹, 大澤理輝, 眞野修平, 船越崇史, 平田裕輔, 天賀谷拓也, 原ロー一広, 新規 1',2'-ジフルオロ-2'-デオキシヌクレオシドの合成研究, 第 61 回日本薬学会関東支部大会, 9 月, 東京(2017).
- 4) 片岡裕樹, 上田優輝, 高橋恭子, 大江知之, 中村成夫, 加藤宣之, 増野匡彦, HCV ポリメラーゼ/プロテアーゼ二重阻害活性を有するフラレン誘導体の細胞内 HCV 複製阻害及び酸化ストレス抑制効果, 日本薬学会第 137 年会, 3 月, 仙台(2017).
- 5) 片岡裕樹, 高橋恭子, 中村成夫, 大江知之, 増野匡彦, HCV ポリメラーゼ/プロテアーゼを阻害する二重標的型フラレン誘導体の創製, 第 60 回日本薬学会関東支部大会, 9 月, 東京(2016).
- 6) 片岡裕樹, 高橋恭子, 大江知之, 中村成夫, 増野匡彦, HCV RNA ポリメラーゼ阻害活性を有するプロリン型フラレン誘導体の抗酸化活性, 日本薬学会第 136 年会, 3 月, 横浜(2016).

3. その他特筆すべき研究業績

研究費獲得

- 1) 片岡裕樹 (代表), 若手研究者奨励金 (日本私立学校振興・共済事業団), 4'位に置換基を導入した

チオリボヌクレオシドの合成研究, 40 万円 (2020 年度) .

- 2) 片岡裕樹 (代表), 日本薬科大学学術研究助成金 (日本薬科大学), 医薬品リードを指向した新規含フッ素ヌクレオシド、チオヌクレオシドの創製研究, 50 万円 (2018 年度) .
- 3) 片岡裕樹 (代表), 日本薬科大学学術研究助成金 (日本薬科大学), 抗ウイルス剤、抗がん剤を指向した新規フッ素導入型ヌクレオシド誘導体の創製研究, 35 万円 (2017 年度) .

学内講演

- 1) 片岡裕樹, 医薬品リードを指向した新規含フッ素ヌクレオシド、チオヌクレオシドの創製研究, 日薬研究会, 12 月, 埼玉 (2019) .
- 2) 片岡裕樹, 炭からはじめる医薬品創製, 日薬研究会, 4 月, 埼玉 (2017) .

Ⅱ. 教育業績

1. 担当授業科目

2020 年度

- 1) 有機化学実習 (薬学科, 2 年生) .
- 2) 生薬・漢方実習 (薬学科, 2 年生) .
- 3) 薬学原書講読 II (薬学科, 4 年生) .
- 4) 卒業研究 (薬学科, 4, 5, 6 年生)

2019 年度

- 5) 薬学総合演習 IA (薬学科, 4 年生), 2 コマ .
- 6) 薬学総合演習 II (薬学科, 6 年生), 2 コマ .
- 7) 有機化学実習 (薬学科, 2 年生) .
- 8) 生薬・漢方実習 (薬学科, 2 年生) .
- 9) 地域と大学 (薬学科, 4 年生), 1 回 .
- 10) 薬学体験学習 (薬学科, 1 年生) 引率 1 回 .
- 11) 薬学原書講読 II (薬学科, 4 年生) .
- 12) 卒業研究 (薬学科, 4, 5, 6 年生)

2018 年度

- 1) 有機化合物としての医薬品 II (薬学科, 1 年生), 13 コマ .
- 2) 薬学総合演習 IA (薬学科, 4 年生), 2 コマ .
- 3) 薬学総合演習 II (薬学科, 6 年生), 2 コマ .
- 4) 有機化学実習 (薬学科, 2 年生) .
- 5) 生薬・漢方実習 (薬学科, 2 年生) .
- 6) 地域と大学 (薬学科, 4 年生), 1 回 .
- 7) 薬学体験学習 (薬学科, 1 年生) 引率 1 回 .

8) 薬学原書講読Ⅱ（薬学科，4年生）.

9) 卒業研究（薬学科，4，5年生）

2017年度

1) 薬学総合演習Ⅱ（薬学科，6年生），2コマ.

2) 総合薬学勉強会（薬学科，5年生），3コマ.

3) 有機化学実習（薬学科，2年生）.

4) 薬学実習プレ教育（薬学科，4年生），6コマ.

5) 生薬・漢方実習（薬学科，2年生）.

6) 薬剤師の使命（薬学科，1年生）.

7) 薬学総合演習ⅠA（薬学科，4年生），3コマ.

2. その他特筆すべき教育業績

特になし